



Books

今号のテーマを深めるために



『疫病と世界史 上・下』

ウィリアム・H. マクニール著、
中公文庫、2007年

疫病は、私たちが考えているよりもずっと根深いところで、人類の歴史と社会とを規定してきた。このことは、人類が狩猟者として地上に出現した時代から、公衆衛生が普及した今日に至るまで一貫した事実である。歴史学者のマクニールは本書で、感染症問題を切り口としながら、人間と自然との関係の問い直しに挑む。

『Ending Neglect: The Elimination of Tuberculosis in the United States』

Lawrence Geiter, National Academies Press, 2000

1970年代から80年代にかけて、アメリカ合衆国では、各州や都市の公衆衛生当局の結核対策が縮小され続けた。その結果は結核の再流行という事態であった。本書は「忘却」を乗り越えて結核の制圧に取り組むべきだとする米国医学研究所 (IOM) の報告であり、政治的なコミットメントと市民の関与、そしてグローバルな取り組みの必要性を訴える。



『釜ヶ崎のスズメ』

原口剛・稲田七海・
白波瀬達也・平川隆啓編、
洛北出版、2011年

釜ヶ崎について知ることは、ホームレス、日雇労働、生活保護といった問題について知るだけではなく、戦後日本社会を理解するための、もうひとつの視点を獲得することだと思う。釜ヶ崎に関心を持つ人の最初の一冊として、自信を持っておすすめできる本。



『感染症疫学—感染性の計測・数学モデル・流行の構造』

ヨハン・ギセック著、昭和堂、2006年

目に見えないウイルスや細菌などの病原体が、人間社会の中でどのように「ふるまう」か。このことを理解する上で、感染症疫学は重要な知見を提供してくれる。本書は、初学者を悩ませる感染症疫学の専門用語を的確に定義するところから始まり、基礎的な分析手法や、応用的な研究のデザインに至るまで、他分野の研究者にも比較的わかりやすく解説してくれる。

京都大学グローバル生存学大学院連携プログラム

幅広い知識と深い専門性、柔軟な思考力と人間的な魅力を含ませ持ち、様々な社会においてリーダーとして活躍する人材を養成することは、京都大学の使命であるとともに、社会の強い要請でもあります。

「グローバル生存学大学院連携プログラム」は、京都大学の9つの研究科と3つの研究所が推進する、新しい大学院教育システムです。現代の地球社会では、①巨大自然災害、②突発的人為災害・事故、③環境劣化・感染症などの地域環境変動、④食料安全保障などの危険事象や社会不安が広がっています。グローバル生存学大学院連携プログラムでは、これらの諸問題をカバーする「グローバル生存学」(Global Survivability Studies) という新たな学際領域を開拓し、

- 1) 人類が直面する危機を乗り越え、人間社会を心豊かにし、その安寧に貢献するという使命感・倫理観にあふれた人材
- 2) 自らの専門性に加えて幅広い視野と知識・知恵によつて的確に対策を行うことのできる判断力・行動力を備えた人材

を育成しようとするものです。

※本プログラムは、文部科学省・日本学術振興会より公募された博士課程リーディングプログラム（いわゆるリーディング大学院）において、京都大学の防災研究所を含む3つの研究所と9つの研究科が安全安心分野で提案し、平成23年12月に採択された新しい大学院教育システムです。

グローバル生存学大学院連携プログラムで学ぶためには

グローバル生存学大学院連携プログラムに参画するいずれかの研究科・専攻の博士前期課程に入学した者がこのプログラムに応募できます。詳しくは、本プログラムのウェブページを見てください。

<http://www.gss.sals.kyoto-u.ac.jp/>

学際トーク・カフェ 第2号

2013年7月4日 初版発行

発行：京都大学グローバル生存学大学院連携プログラム

このリーフレットに対するご意見、お問い合わせは西 真如 (nishi@jafore.org) までお願いします。
グローバル生存学大学院連携プログラムに関するお問い合わせは、ユニット事務局までお願いします。
京都大学グローバル生存学大学院連携ユニット
606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町4日本イタリア会館内205号室 tel: 075-585-7111

※このリーフレットは、グローバル生存学に関連する学術的な 이슈を、わかりやすく解説する目的で企画・発行するものです。
掲載されている記事の内容は、京都大学および京都大学グローバル生存学大学院連携ユニットの見解を代表するものではありません。

編集協力：本間咲来
デザイン：高倉 薫
印刷：スイッチ、ティフ